

〔トップメッセージ〕

グループ丸となって

「持続可能社会実現の一翼を担う」役割を

果たしていきます。



世界は今2050年の脱炭素社会実現に向けて一斉にそして急速に動き始めました。その流れを受けて多くの大企業が脱炭素経営への具体的な取り組みをスタートさせました。その対象は当該社内にとどまらず仕入れ先から廃棄先までを含むサプライチェーン全般に及び始めています。それが資源循環（サーキュラーエコノミー）の動きと相まって、リサイクル業界に脱炭素生産プロセスを備えた製造業への変革を求めています。

当社は2018年にRE100を宣言し、2020年には2050年カーボンニュートラル宣言をしてその具体的な取り組みを早々に始めました。現在当社は工場（Scope1,2）で使う電力の約95%を再生可能エネルギーで賄っています。CO<sub>2</sub>の視点で見ると当社では電力由来のCO<sub>2</sub>排出量が全体の約65%を占めているので、今年度は約60%のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる見込みです。

一方資源循環（サーキュラーエコノミー）の動きは当業界に適正処理の領域からものづくりに精通した製造業へ転換を促しています。それはQ（品質）C（コスト）D（納期）で一流の製造業に匹敵する力を身につけていくことを意味します。当社はそれにC（カーボンニュートラル）を加えたQCDCというコンセプトで脱炭素社会に相応しい新たなリサイクル業の姿を目指していきます。そして地上資源（都市鉱山）由来の素材メーカーに変革し、当社のミッションである「持続可能社会実現の一翼を担う」を成し遂げていきます。

もちろんその挑戦を社員の皆さんとともにトコトン楽しみながら。

人生はニコニコ顔の命がけ（平澤興先生の言葉）

前へ MYWAY 前へ。

代表取締役社長

佐野富和